

美原区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
子育て世代への防災啓発事業		美原保健センター			
事業目的	事業効果	活動指標	H28	H29	H30
<p>堺市では各校区単位で地域の避難所運営マニュアル作成に取り組んでいる。美原区においても地域で防災意識を高めるための取り組みを進めている。保健センターは、妊産婦や乳幼児をもつ保護者に関わる機会が多く、災害時、子育て世代に必要な物品を把握し、区民に広く知らせる必要がある。区民に日頃からの備えや防災の知識を得てもらうことで、減災につなげることを目的とする。</p>	<p>特に子育て世代への啓発を行うことで、災害が起きた時でも日常生活を維持できる備えを確保することができる。</p>	<p>講演会の参加者数</p> <p>講演会参加者の防災意識の向上</p>	/	/	<p>44名</p> <p>講演会後に何らかの備えをした人数 16人</p>
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
<p>◎ 近年、地震や台風などで予想以上の甚大な被害がある中、災害時の乳幼児を伴った避難など被災リスクの高い子育て世代をターゲットに、緊急の避難時や被災後の日常生活において、自身と子どもの身を守るために必要な物品の備えなどを啓発した。</p>	<p>◎ 子育てネットワーク会議と連携したことで、子育て支援者の防災意識の向上にも活かされた。講演会の事前打ち合わせ時に、ネットワーク会議からの意見も盛り込んだ内容で実施できた。</p>	<p>○ 子育て層にターゲットを絞ったため、一般的な防災の知識だけでなく、子育て世代に特化した内容で、ワークショップや体験をしてもらうことができ、災害が他人事として捉えられないように啓発することができた。</p>	<p>○ 子育てネットワーク会議の機会に子育て中の方と支援者が一緒に防災を考えることで共通認識を持つことができた。また、講演中に保育士やボランティアが子どもの保育を実施することで、保護者が講演に集中しやすい環境をつくり、ゆっくり講演会を聞ける機会となった。</p>		
⑤自立発展性	総合評価				
<p>◎ 5月・10月・2月と防災をテーマとした講演会を3回実施した。得た知識を、各家庭でも実践してもらえるような内容で実施した。</p>	<p>◎ 講演会の実施に合わせて作成したチラシを4か月健診にて配布し、防災の健康教育を実施した。また、非常用持ち出し袋の中身を保健センター内に展示し、視覚的に揃えておくものがわかるようにした。美原区の子育て世代の方の防災の意識向上のため啓発することができた。</p>				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
<p>拡充 継続 見直し 廃止</p>	<p>子育て世代の防災意識を把握するため、平成29年度にアンケート調査(4か月児健診17名、1歳6か月児健診12名、3歳児健診39名、BCG11名、妊婦3名、計82名)を実施した結果、災害時の避難場所を知っている方は68%であった。また、非常用持ち出し袋を用意している方は24.5%であった。これらの結果から、非常用持ち出し袋の中身を検討し、子育て世代が必要な物品などを記載したチラシを作成した。今年度は講演会の実施とチラシ配布、非常持ち出し袋の中身の展示を実施した。次年度は、子育てサークル交流会や健康のつどいなどのイベントで、防災の展示コーナーを設けて啓発予定としている。今後もあらゆる機会に防災の意識を高められるように啓発を継続していく。</p>				